

令和6年7月23日

各報道機関文教担当記者 殿

第2回 金沢大学 宇宙理工学シンポジウム 「～金沢大学衛星プロジェクト これまで・いま・これから～」

このたび、金沢大学理工研究域先端宇宙理工学研究センター（ARC-SAT）は、シンポジウム「～金沢大学衛星プロジェクト これまで・いま・これから～」を以下のとおり開催します。

ARC-SATは、昨年12月に初の独自開発人工衛星「こよう」を打ち上げ、運用を続けています。また、次なる人工衛星開発計画もすでに始動しており、さらなる宇宙理工学分野の発展に向け、さまざまな取り組みを活性化させています。

本シンポジウムでは、ARC-SATが打ち上げに成功した金沢大学1号機「こよう」の開発と現在の状況や、在学中に衛星開発に従事していた卒業生を交えたパネルディスカッション、現在進行中の新衛星開発計画についての紹介を行います。その後、ポスターセッションでは金沢大学の教員、学生と一般参加者の交流を深めます。

つきましては、当日の取材・報道をお願いします。

※取材の際は、記者証を携帯し、腕章などで報道関係者であることの明示をお願いします。

第2回 金沢大学 宇宙理工学シンポジウム 「～金沢大学衛星プロジェクト これまで・いま・これから～」

日 時：2024年8月3日（土）13:00～16:30

場 所：金沢歌劇座 大集会室

参加人数：会場参加150名

参加費：無料

内 容：別添チラシをご参照ください。

【本件照会先】

理工研究域

先端宇宙理工学研究センター

TEL：076-234-4917

Mail：arc-sat.info@ml.kanazawa-u.ac.jp

【シンポジウム当日の連絡先】

理工研究域

先端宇宙理工学研究センター

莊司 泰弘（しょうじ やすひろ）

TEL：090-9088-2478

第2回 金沢大学 宇宙理工学シンポジウム

～金大衛星プロジェクト

これまで・いま・これから～



2024年 8月3日(土)
13:00～16:30

金沢歌劇座 大集会室

参加費 無料

対象年齢 高校生以上
(小中学生でもご参加いただけます)

主催：金沢大学 理工研究域 先端宇宙理工学研究センター

後援：宇宙航空研究開発機構、宇宙の学校いしかわ委員会、金沢子ども科学財団、日本宇宙少年団金沢支部、金沢市教育委員会、小松市教育委員会、石川県教育委員会（順不同）

Photo by SpaceX



参加申込方法

下記webサイト または 左のQRコード
からお申し込みください

<https://ws.formzu.net/dist/S668029797/>



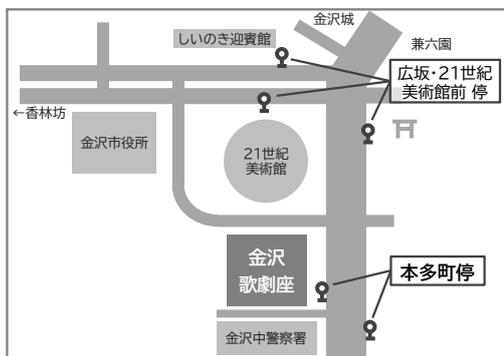
金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY



ウェブサイト：<http://arc-sat.w3.kanazawa-u.ac.jp/>
お問い合わせ：arc-sat.info@ml.kanazawa-u.ac.jp

プログラム

13:00	第1部 金沢大学衛星「こよう」のいま 金沢大学理事・副学長挨拶 講演 X線突発天体監視速報衛星こよう 打ち上げ報告 講演 金沢大学衛星こようのバス系開発と初期運用での成果 講演 金沢大学衛星こようミッション系初期観測結果報告	中村 慎一 理事・副学長 澤野 達哉 助教 江口 大智 博士前期課程2年 高橋 直暉 博士前期課程2年
14:20	第2部 金沢大学衛星プロジェクトのこれまで・これから パネルディスカッション 卒業生と振り返る金沢大学衛星プロジェクト 講演 電波で宇宙を探る 金沢大学衛星2号機の検討状況 講演 大胆なチャレンジをより早く！ KSAT3-Xシリーズ計画	八木谷 聡 教授、卒業生 松田 昇也 准教授 莊司 泰弘 准教授
15:40	第3部 金大の研究者との交流会 ポスターセッション 金大衛星プロジェクトと各研究室の活動紹介	
16:30	金沢大学理工研究域長挨拶	松本 宏一 理工研究域長



会場アクセス

金沢歌劇座 大集会室

〒920-0993 金沢市下本多町6番丁27番地

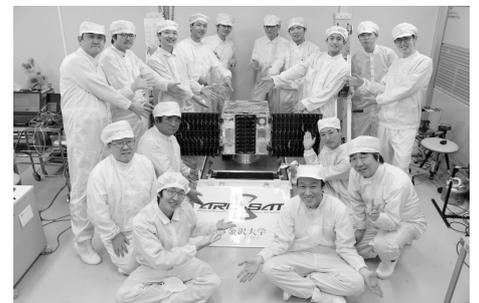
北鉄バス「本多町」停（「東部車庫」「金沢学院大学」行き）

※ 一般参加者用の有料駐車場はありますが、数が限られています。
なるべく公共交通機関でお越しください。

金沢大学 理工研究域 先端宇宙理工学研究センター(ARC-SAT)

人工衛星や宇宙探査機を用いて太陽地球系から遠方宇宙までを理解するために、先端的な観測技術の開発とそれらを用いた科学観測をすすめます。また、研究開発を通して学生や若手研究者ら、将来の宇宙理工学分野を担う人材を育成します。

2024年現在、専任・兼任教員10名、学生約30名が所属しています。



金沢大学衛星1号機 X線突発天体監視速報衛星「こよう」(KOYOH) 2023.12.2打ち上げ～現在運用中

金沢大学先端宇宙理工学研究センター(ARC-SAT)が開発中の超小型科学観測衛星で、本体は50cm角の立方体、重さは約45kgです。突然強力なX線などを発生するX線突発天体を観測します。さらに2015年に史上初めて検出され大きな話題となった「重力波」の観測施設と連携することで、「重力波天文学」という新しい学問分野の創成に貢献することをめざします。X線突発現象を観測するための装置をはじめ、金沢大学で開発された機器を搭載し、2023年12月2日米国より打ち上げられました。チラシ表面の写真は打ち上げの際にロケットから撮られた、ロケットから放出された直後の「こよう」のようすです。

くわしくはARC-SAT ウェブサイトへ
<http://arc-sat.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

